

SPAC 秋→春のシーズン 2021-2022 #2

# 桜の園

新作 国際共同制作

*The cherry orchard*

- 演出・舞台美術：ダニエル・ジャンストー
- アーティストック・コラボレーション、ドラマツルギー、映像：ママル・ベンラヌー
- 作：アントン・チェーホフ
- 翻訳：アンドレ・マルコヴィッチ、フランソワーズ・モルヴァン（仏語）、安達紀子（日本語）

出演：鈴木陽代、布施安寿香、ソレーヌ・アルベル  
阿部一徳、カンタン・ブイッサー、オレリアン・エスタジェ  
小長谷勝彦、ナタリー・クズネツォフ、加藤幸夫、山本実幸  
アクセル・ボグスラフスキー、大道無門優也、大内米治

## 日時・会場

[静岡公演]

2021年 11月13日(土)、14日(日)、20日(土)  
21日(日)、23日(火・祝)、28日(日)  
12月12日(日) 各日 14:00開演

静岡芸術劇場 (グランシップ内)

〒422-8019 静岡市駿河区東静岡2丁目3-1

主催：国際交流基金、SPAC-静岡県舞台芸術センター  
製作：SPAC-静岡県舞台芸術センター

フランス国立演劇センター ジュヌヴィリエ劇場  
共同制作：Théâtre des 13 vents CDN Montpellier

[磐田公演]

2021年 12月3日(金) 13:30開演

磐田市竜洋なぎの木会館 大ホール

〒438-0231 静岡県磐田市豊岡6605-3

主催：SPAC-静岡県舞台芸術センター、公益社団法人全国公立文化施設協会  
助成：文化庁 大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキャラバン事業

## チケット (静岡・磐田共通)

一般：4,200円 / ペア割引：3,700円 (2名様で1枚につき)  
ゆうゆう割引：3,500円 [満60歳以上の方]  
学生割引：[大学生・専門学校生] 2,000円 / [高校生以下] 1,000円  
◎未就学児入場不可

## ●ご予約・お問い合わせ：SPACチケットセンター

TEL. 054-202-3399 (10:00~18:00)



▲宣伝美術：阿部太一 (TAICHI ABE DESIGN INC.) / 宣伝写真：橋本裕貴

## ■日本語とフランス語が飛び交う舞台が描き出す、

## 全く新しいチェーホフの劇世界

ロシアを代表する作家チェーホフの名作『桜の園』は、19世紀末の農奴解放令によって急速に変化する時代を生きて人々を描いた会話劇です。フランス人演出家ダニエル・ジャンストーは、この歴史的傑作が描き出す世界に、新型コロナウイルスや地球規模の災害などに直面し、大きな変化の時期を迎えている現在を重ねました。目の前に横たわる悲劇的な状況を乗り越えようと必死な登場人物たちの姿に、新たな世界へ希望を持って歩み出すためのメッセージ、チェーホフが遺した想いを見出しました。

ジャンストーは本作のために日仏の俳優を厳選。これまで数々の名優が演じてきたラネーフスカヤは、ジャンストーの代表作『ガラスの動物園』のアマンダ役で信頼も厚い鈴木陽代が務めます。過去の栄光と決別できず、愚かなながらも愛情深い主人公を演じます。また、日本漫画の翻訳や通訳を本業とするオレリアン・エスタジェを、新しい思想を持つ学生トロフィーモフに抜擢。日仏2言語を使い分けて言語の架け橋となりながら、時代の狭間に立つ人々に先見性をもたらします。

主人公の屋敷に集う人々のどこか噛み合わない会話はチェーホフが巧みに散りばめた軽快なユーモアに溢れています。日本語とフランス語で交わされることで「分かり合えなさ」を表面化すると同時に、言語を超えた「理解」にも光を当てています。日本とフランス、異なる文化に生きるアーティストたちの共同作業によってこそ生まれる新しいチェーホフ劇に、ぜひご注目ください。

## ■コロナ禍で初めて挑む、国際共同制作での新作クリエイション

本作は、SPACとしてはコロナ禍で初めて、海外よりアーティストを静岡に招聘しての新作クリエイションとなりました(2021年8月に第1期稽古)。本作のパートナーである、仏ジュヌヴィリエ劇場や国際交流基金との綿密な連携により、フランスから演出家、俳優、スタッフ計9名が来日。日仏アーティストたちによる強力な濃密な国際コラボレーションが実現しました。そこで浮き彫りとなったのは、言語を超えた人間としての違い。登場人物たちの「個」を繊細に描き出します。

また、観る者の「記憶」を揺さぶるような舞台美術も、ジャンストー作品の見所のひとつ。本作では、ママル・ベンラヌーの映像を軸にSPAC独自の感染防止対策である「俳優と観客の距離を5.5m保つ」という厳しい制約を要素として舞台装置に取り入れ、過去から未来へと移りゆく儚くも美しい劇的空間を創り出します。

2009年の『ブラスティッド』以降、『ガラスの動物園』(2011年)、『盲点たち』(2015年)で深い信頼関係を築いてきたジャンストー×SPAC、待望の第4弾です。

### 〈あらすじ〉

ラネーフスカヤは、パリの愛人に別れを告げ、5年ぶりに帰郷する。しかし、積み重なった借金で大切な「桜の園」は競売にかけられようとしていた・・・

## プロフィール

### ダニエル・ジャンヌトー Daniel Jeanneteau



演出家、舞台美術家。ストラスブール装飾芸術学校を卒業後、ストラスブール国立劇場付属学校で演劇を学ぶ。在学中にフランス演劇界の巨匠クロード・レジと出会い、その後15年間に渡ってレジ作品の舞台美術を手がけたほか、数々の演出家や振付家と創作を共にしている。2008年よりステュディオ・テアトル・ド・ヴィトリーの芸術監督を経て、2017年フランス国立演劇センター・ジュヌヴィリエ劇場ディレクターに就任。

### ママル・ベンラヌー Mamar Benranou



映画監督、カメラマン、映像編集者としての研鑽を積んだ後、2009年には、実験的ドキュメンタリー映画『Le Chant des invisibles (見えないものの歌)』の脚本・監督を務める。以降、様々なアーティストとのコラボレーション作品で映像制作を手がける。SPACでは『ガラスの動物園』の劇中映像のほか、ジャンヌトー演出の舞台を基にした映像作品を制作するなど、ジャンヌトーのコラボレーターを務めている。

## 関連企画（静岡公演）

### 〈プレトーク〉

一般公演日の開演25分前より2Fカフェ・シンデレラで、舞台をよりおもしろく観劇できるポイントをご紹介します。

### 〈アーティストトーク〉

終演後にトークを開催いたします。

#### 11月13日(土)

ゲスト：岩井秀人（作家・俳優・演出家）  
登壇者：ダニエル・ジャンヌトー（演出・舞台美術）  
司会：横山義志（SPAC文芸部）

#### 11月20日(土)

ゲスト：徳永京子（演劇ジャーナリスト）  
登壇者：ダニエル・ジャンヌトー（演出・舞台美術）  
司会：宮城聡（SPAC芸術総監督）

### 〈バックステージレクチャー〉

SPAC創作・技術部スタッフが舞台裏を解説します。

11月14日(日)、21日(日)、23日(火・祝)、28日(日)  
各日終演後 所要時間：約30分（参加無料／予約不要）

### 〈はじめての演劇鑑賞講座〉

演劇初心者の方に向けて、SPAC俳優・永井健二が見所を観劇前にレクチャーいたします。観劇が初めてでない方もご参加いただけます。

11月13日(土) 12:30～13:30  
参加無料／要予約 定員20名

## ◇磐田公演 スペシャルトーク

12月3日(金) 磐田公演の終演後に、磐田市を拠点に活動する佐藤典子舞踊団の佐藤典子さんをゲストにお迎えし、SPAC芸術総監督 宮城聡とのトークを実施いたします。

## 静岡公演 同日開催

### 冬の特別公演 『夢と錯乱』

宮城聡、亡きレジへの静かなオマージュ。

公演日時：12月12日(日) 18:00

会場：舞台芸術公園 屋内ホール「楢円堂」

●チケット：11月13日(土)より一般前売り開始

## 中高生鑑賞事業「SPACeSHIP げきとも！」



SPACでは「劇場は世界を見る窓である」という理念のもと、静岡県内の中学生・高校生を対象に招待公演を行っています。本作では県内11校、約2,000名の中高生が静岡芸術劇場での鑑賞を予定しています。

※一般のお客様は観劇をご遠慮いただいております。

### ●静岡芸術劇場

11月12日(金) 13:30開演、16日(火) 14:30開演  
17日(水) 13:30開演、22日(月) 13:30開演  
12月6日(月) 13:30開演、8日(水) 13:30開演  
13日(月) 14:00開演、14日(火) 13:30開演  
15日(水) 10:30開演／14:30開演（計10公演）

## 新型コロナウイルス感染症対策

ご来場のお客様へご協力をお願い

- ご来場前の体調チェック、またご来場の際にはマスク着用をお願いいたします。
- 会場入口にて、サーモグラフィ／非接触型体温計にて検温を行い、37.5度以上の場合にご入場をお断りいたします。



★詳細は公式サイトをご覧ください。▲

## ★オンライン企画もございます！

### 【SPAC リーディング・カフェ2021】Vol.2『桜の園』

気軽に演劇体験ができるSPACの人気企画リーディング・カフェ。昨年よりご好評いただき、今年もオンラインにて開催いたします。今回のナビゲーターは、出演俳優の阿部一徳が務めます。また、ゲスト俳優も参加予定！皆様と一緒に読み合わせに参加いたします。Zoomで自宅から、お茶やコーヒーを片手にご参加ください♪

11月25日(木)、26日(金) 各日：19:30～21:30

読む戯曲：『桜の園』（作：アントン・チェーホフ／翻訳：安達紀子）  
ナビゲーター：阿部一徳

ゲスト俳優：布施安寿香（11月25日）、鈴木陽代（11月26日）  
定員：各回10名（先着順） | 参加費：1,500円（税込）

● <https://spac.or.jp/news/?p=20188> よりオンラインでご予約ください。